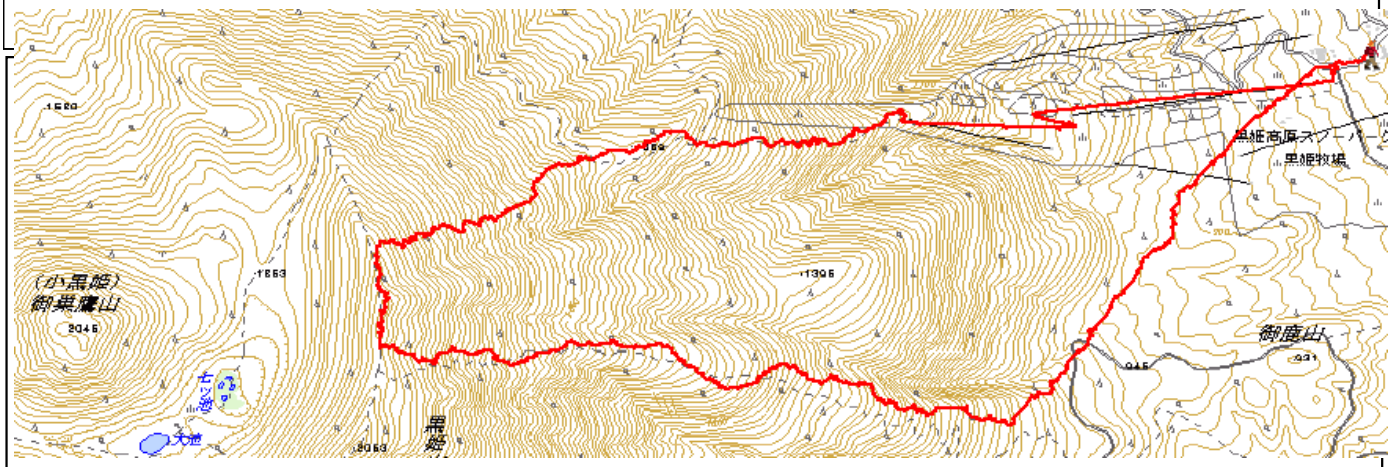
山 行 報 告 書

報告書作成	2012年1月20日

山名［山域］	黒姫山(2053m)〔北信州〕	目的と方法	厳冬期のバックカントリースキー
登山期間	2013/1/19(土)	山行形態	日帰り
参加人数	8人		

行動記録　【晴れ　のち曇り　のち雪　-7～-15℃】

1月19日(土)
岡崎市民病院(4:00)発==姨捨SA　＝黒姫スノーパーク駐車場(8:30)着
リフト最上部(9:50)シール貼り付け　10:00出発　－　旧ゲレンデ最上部(9:50、10:00)-休息(11:05,11:20)－外輪山手前(12:20,12:30)－外輪山エントリーポイント(13:40、14:00)
ツリーラン開始　-ゲレンデ着(16:50、17:00)-駐車場17:10着
駐車場＝　苗名の湯　＝　岡崎市民病院P着　23:40



・木曜日、今週末の天気は土曜日も日曜日もともに冬型。とりあえず土曜日とし、バックUPルートとして天気の期待できる東信濃の山スキールートを検討することにした。
・金曜日、天気の期待できる東信濃の湯の丸山に変更した。
・当日、集合後、メンバー各自の天候判断をヒヤリングし、予定の湯の丸山めざして出発。姥捨SAでは快晴で黒姫山の隣の飯綱山、戸隠山がきれいに見えた。全員で検討しなおし、天気の大きな悪化はないことと、地図やGPSデータが準備できていたことから、湯の丸山から当初の黒姫山に戻すことを決定。留守本部他に連絡した。

・黒姫スノーパークに到着、快晴。リフト2基を乗り継ぎ、シールを装着して出発。
・3パーティほどが先行していたため、トレースができており、ラッセルの必要なく比較的楽に登れた。
・旧スキー場トップからは樹林帯の登りが外輪山まで続いた。休めるような平坦な場所はほとんどない。
・外輪山到着するころには天気が曇りとなり、雪もちらつきはじめた。
・外輪山歩行中、メンバーのシールが剥がれ、そのシールが全く粘着性を持たなくなってしまった。エントリー予定ポイントまで、なんとか到着。時間も13:30になっていたことから、黒姫山頂上にはいかず、滑降準備を始めた。
・エントリーポイントから標高差1200m全部が斜度のある疎林のツリーラン。すべてパウダースノー。それぞれが激パウを堪能する。堪能しずぎて、転倒も多く、パウダーの中で必死に格闘し、体力が消耗していく。時間も消費し日没を気にしながら滑り続けた。結局、ゲレンデ到着は日没後。滑走に登りと同じ3時間を要した。
・雪も降り出し、一部ガスがかかるところもあったので、滑走区間を細かくくぎってメンバー全員を確認しながら

感想

標高差1200mの激パウ。だけど、心地よいターンはほとんどできなかった。自分の技術力になさに嘆く。最後の緩斜面で、転びスキーが外れた。それを付け直すことがとても大変であった。雪との格闘だ。そこまでの上部で、メンバーの多くが転倒を繰り返していたことから、さぞかし体力を消耗していたことと思う。しかし、さすがベテラン山やさんで、その苦労を満足感にかえているようで、安心できた。
その後、ゲレンデにもパウダーラインが残っていたにもかかわらず、圧雪コースに逃げてしまった。
激パウに満腹なバックカントリーであった。